

# ボランティア保険ご案内

## ボランティア活動保険

ボランティア活動中に、ボランティア自身がケガをした(傷害事故)、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった(賠償事故)などの事故を幅広く補償します。

| 保険プラン                     |  | Aプラン | Bプラン | Cプラン |
|---------------------------|--|------|------|------|
| 基本プラン年間保険料                |  | 250円 | 300円 | 500円 |
| 天災プラン年間保険料(基本プラン年間保険料を含む) |  | 400円 | 500円 | 800円 |

| 保険金の種類                   | 補償概要(事故発生日から180日以内)   | 保険金額(補償の金額) |        |         |
|--------------------------|---|-------------|--------|---------|
|                          |   | Aプラン        | Bプラン   | Cプラン    |
| 死亡保険金                    | 死亡・後遺障害保険金額の全額をお支払いします。(注2)                                     | 620万円       | 840万円  | 1,230万円 |
| 後遺障害保険金                  | 後遺障害の程度に応じて死亡・後遺障害保険金額の42~100%をお支払いします(注3)                      |             |        |         |
| 入院保険金(1日につき)             | 入院日数1日につき、入院保険金日額をお支払いします。                                      | 4,400円      | 5,400円 | 8,400円  |
| 通院保険金(1日につき)             | 通院日数1日につき(90日を限度として)通院保険金日額をお支払いします。(注4)                        | 2,800円      | 3,200円 | 5,800円  |
| 手術保険金                    | 入院中に受けた手術は入院保険金日額×10、入院中以外の手術は入院保険金日額×5の額をお支払いします。              |             |        |         |
| 対人・対物共通<br>賠償責任<br>人格権侵害 | 第三者の身体または財物に損害を与え、または名誉毀損やプライバシーの侵害により法律上の損害賠償責任を負った場合にお支払いします。 | 5億円(限度額)    |        |         |

(注1) 傷害事故の保険金は、健康保険・生命保険・加害者からの賠償金などとは関係なくお支払いします。事故発生日を含めて180日以内の死亡・後遺障害・入院・通院・手術について保険金をお支払いします。  
 (注2) 既にお支払いした後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした金額を控除した残額をお支払いします。  
 (注3) 保険期間(保険のご契約期間)を通じ合算して死亡・後遺障害保険金額が限度となります。  
 (注4) 平常の生活またはお仕事に支障がない程度に治ったとき以降の通院に対しては、保険金をお支払いできません。  
 ○ 特定感染症(1類、2類、3類)により発病の日から180日以内に死亡した場合、葬祭費用として300万円を限度に葬祭費用の実額をお支払いします。

### 天災プランとは…

地震もしくは噴火、津波及びこれらにともなう生じた事故等の死亡・後遺障害・ケガも補償します。以下の特約が付帯され、補償内容がグレードアップしますのでおすすめです。  
 (天災危険補償特約・第三者加害行為等による傷害保険金倍額支払特約)

## ボランティア行事用保険

社会福祉協議会及び民間のボランティア活動推進団体が主催者となって、ボランティア活動に関わる行事を行う際の、主催者および参加者のケガ(傷害事故)と、主催者が賠償責任を負った事故を補償します。

| 行事区分 | 日 帰     |      |      |              | 宿 泊   |      |      |      |      |      |
|------|---------|------|------|--------------|-------|------|------|------|------|------|
|      | 1日1名につき |      |      |              | 1名につき |      |      |      |      |      |
|      | A行事*    | B行事* | C行事* | 現地集合型(A行事のみ) | 1泊2日  | 2泊3日 | 3泊4日 | 4泊5日 | 5泊6日 | 6泊7日 |
| 保険料  | 30円     | 128円 | 251円 | 30円          | 223円  | 273円 | 279円 | 331円 | 337円 | 343円 |

| 保険金の種類       | 補償概要(事故発生日から180日以内)                                | 保険金額(補償の金額)  |              |
|--------------|--|--|--------------|
|              |  |  | 死亡保険金        |
| 後遺障害保険金      | 後遺障害の程度に応じて、死亡・後遺障害保険金額の4~100%をお支払いします。(注2)        | 330万円(限度額)   |              |
| 入院保険金(1日につき) | 入院日数1日につき、入院保険金日額をお支払いします。                         | 3,300円   |              |
| 手術保険金        | 入院中に受けた手術は入院保険金日額×10、入院中以外の手術は入院保険金日額×5の額をお支払いします。 |  |              |
| 通院保険金(1日につき) | 通院日数1日につき(90日を限度として)通院保険金日額をお支払いします。               | 2,200円   |              |
| 賠償責任         | 対人 1名1事故   | 第三者の身体・生命を害し法律上の損害賠償責任を負った場合に、保険金をお支払いします。(多数の第三者に事故が発生した場合は、1事故を適用します。)(注3) | 2億円(限度額)     |
|              | 対物 1事故   | 第三者の財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合に、保険金をお支払いします。(注3)                              | 1,000万円(限度額) |

・「ケガ」とは急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害をいいます。なお傷害には細菌性・ウイルス性食中毒を含みます。  
 ・日帰り行事ABCにおいて、事故発生日に名簿または参加証明書を提出できない場合は、保険金が支払われない場合があります。  
 ※ A-B-Cの行事区分は内容により異なります。

(注1) 傷害補償の保険金は、健康保険・労災保険・生命保険・加害者からの賠償金などとは関係なくお支払いします。事故発生日を含めて180日以内の死亡・後遺障害・入院・通院・手術について保険金をお支払いします。  
 (注2) 保険期間を通じ合算して死亡・後遺障害保険金額が限度となります。  
 (注3) 免責金額(自己負担額)は対人・対物事故ともにゼロとします。

● 社会福祉法人向け役員賠償責任保険及び福祉ふれあい活動総合補償等の「福祉に関する保険」も取り扱っております。詳しくは愛知県社会福祉協議会ホームページ「福祉の保険」をご覧ください。

※お申し込み、ご照会は下記の市区町村社会福祉協議会まで

〒461-0011 名古屋市東区白壁1丁目50番地  
 愛知県社会福祉協議会 総務部 TEL 052-212-5500 FAX 052-212-5501  
 取扱代理店 〒460-0008 名古屋市中区栄2-2-31 ニュープラスビル7階  
 株式会社ニュータス(愛知県社会福祉協議会 指定代理店) TEL 0120-258-517 FAX 052-204-8988

令和4年度

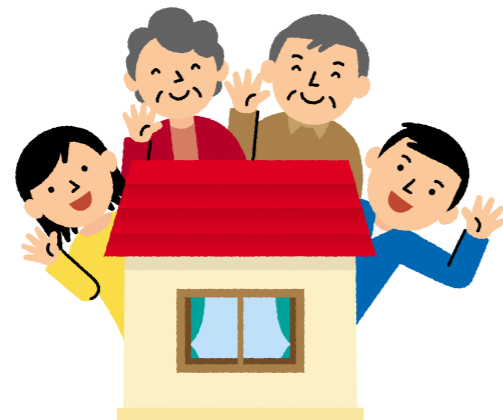
# 「子どもの居場所づくり応援事業」

## 実施報告書 (子ども食堂取組事例集)





|                                |    |
|--------------------------------|----|
| はじめに                           | 1  |
| <b>▶ 子ども食堂の取組事例集</b>           |    |
| 1. 笑顔いっぱい食堂（名古屋市港区）            | 2  |
| 2. あつまれ!! ふうせん広場（碧南市）          | 4  |
| 3. サンクテーブル（半田市）                | 6  |
| 4. 西尾市社会福祉協議会 フードバンクにしお        | 8  |
| <b>▶ 「子どもの居場所づくり応援事業」実施報告書</b> | 10 |



## はじめに

昨年度に引き続き、今年度もこうして「子どもの居場所づくり応援事業」実施報告書をまとめることができました。事業の中核となる「子どもの居場所づくり推進会議」は、構成員が例年以上に多忙ななか、8月・3月の両会議はもとより、県内3地区（尾張・知多・三河）における検討部会および研修会を10～11月にかけて今年度も行うことができました。

昨年度設立した「あいち子ども食堂応援ステーション」（地域拠点、略称「あいステ」）もこちらの予想を上回り、県内30か所にもなりました（12月20日現在）。こうした動きもあって、全国こども食堂支援センターむすびえの調査（2022年9～11月実施）では、愛知県内の子ども食堂数は293箇所です。都道府県ランキング7位、前年度比増加数101箇所です。同2位の結果を得ました。しかしながら、小学校数が県内に962校あるうち、220校区しか子ども食堂がありません。さらに人口比で見ると3.89箇所にしかならず、ランキングでも41位に位置しています。

「子ども食堂」は、「子どもの居場所」として今後のこども政策の重要な柱に位置付けられています。4月から発足される「こども家庭庁」でも、「子ども食堂」について「支援部門」ではなく「成育部門」に位置付け、「子どもの貧困対策」という視点も視野に入れつつも、「子どもを中心にした地域交流拠点」という視点をより重要視しています。このように、運営者からみると「子ども食堂」への応援体制は国レベルでも拡大してきています。

新型コロナに関わる規制が緩和されたため、フードパントリーではなく、文字通りの「子ども食堂」を復活・再開するところが増えると予測できます。実践的にも政策的にも「子ども食堂」はますます期待される所であり、愛知県内においてもさらに増やす取り組みが必要です。これから地域で「子ども食堂」を広げていくために、本報告書が「子ども食堂」をこれから立ち上げようとする方にもとより、「子ども食堂」をすでに運営される方や活動を支える方の一助として、ご活用いただければ幸いです。

令和5年3月

子どもの居場所づくり推進会議  
委員長 中村 強 士

# 笑顔いっぱい食堂 | 名古屋市港区



- 設立年月日  
2017年6月
- 活動場所  
稲永さくらふれあいホール
- スタッフ人数  
約20人

- 開催日時  
毎月第2土曜日 11:00~13:30
- 参加費  
子ども 無料 大人 300円
- 連絡先  
笑顔いっぱい食堂実行委員会代表 堀恵子  
090-6096-7582

## 活動のきっかけ

港区に「子ども食堂を作りたい」と立ち上げは名古屋市の元保育士3名から始まりました。早速、周りの仲間に呼びかけ、集まった9名で2017年6月に準備会が発足。その後は幾度かの実行委員会を重ね、みなと医療生協当知診療所の協力の元、8月に開催が実現しました

## 場所の確保

第1回目からは当知診療所2Fで行いましたが運営が定着してきた頃、コロナ感染が広まり会場の使用ができなくなりました。急遽稲永学区の区政協力委員さんに協力要請したところ理解が得られ、さくらふれあいホールでの開催が可能となり現在に至っています。

## 運営費及び食材の確保

子ども食堂に賛同してくださる個人、企業からの寄付に加え、月々の参加費で運営を続けています。また個人や農家の方々から毎回野菜や果物等の食材提供があり助けていただいています。



食材の確保



頂いた野菜で野菜バザー!



## 広報活動

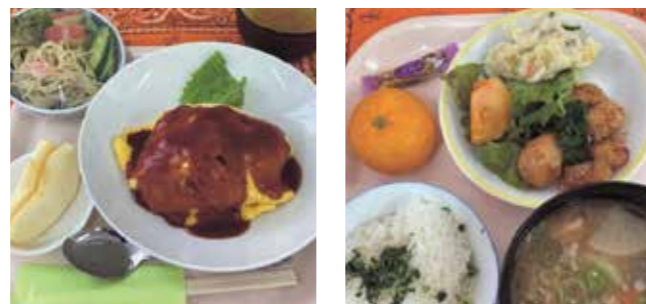
2ヶ月毎に日程、メニューを記載したチラシを作成して各機関へ配布の依頼をしています。

小学校、地域の回覧板、社会福祉協議会、みなと医療生協広報誌等。



## 活動内容

- 月一回の心のこもった手作りメニューの提供
- 月一回の定例実行委員会
- 今年度は食堂の5周年記念としてミニコンサートが開催できました。



これまでのメニュー



クリスマス会



恵方巻

- 12月はクリスマス会としてサンタクロースに扮したスタッフが子ども達や参加の皆さんにプレゼントを渡し喜ばれました。

## コロナ禍で気を付けていること

参加者には会場に入る前にまずは手洗いをして受付にて検温、手の消毒をし記名をしていただくというルーティンを徹底すると共にスタッフ達も健康管理に留意し調理担当者達は特に衛生管理に努めるようにしています。

会場は換気、空気清浄機使用、黙食等の掲示物を貼るなど、環境整備に努めています。



## コロナ禍で大切にしていること

コロナ禍の中でも感染増加傾向になった時は会食だけは中止してお弁当スタイルで提供しました。どんなときでも、みんなでできることを考え合いながら楽しく活動を続けています。



## 食事で大切にしていること

盛り付け方、色合いを工夫して子ども達の食べる意欲を高めたり、旬の野菜や果物を美味しく食べることができるよう調理方法も考えながら作っています。

また季節感、行事食も子ども達に伝えたいという思いもあります。

## アレルギー対応やっています

受付でアレルギーの有無を把握し、確認表やアレルギーチェック表を作成し調理担当者や配膳担当者との共有を図ります。

## 食堂の安心安全を守ります

実行委員2名は食品衛生責任者の資格を取得。他にも調理師の有資格者もいて衛生チェック、健康チェックは万全です。

## 私たちの目指す子ども食堂とは

- 食を通して子どもを真ん中にみんなの居場所を作りたい
- 子どもだけでも来られるように
- 親子でゆったり過ごせるように
- 赤ちゃんも高齢の方も誰でも来ることができるように
- ほっと安心して過ごせる笑顔いっぱいのみんなの食堂にしていきたい

## 今後に向けて

今後、コロナが終息したころには食事後にホッと一息つける時間とスペースを作り、ここがみんなの居場所になっていけたらいいなあ~と思います。



会場と子ども達の様子

実行委員と当日力を貸して頂いているスタッフの皆さん





# あつまれ!! ふうせん広場 | 碧南市

- **設立年月日**  
2021年3月
- **活動場所**  
土曜日：文化会館 長期休み：中部公民館
- **スタッフ人数**  
20名程度
- **開催日時**  
毎月第1・3土曜日、長期休みの平日(不定期)  
16:00~19:00
- **参加費**  
子ども 100円 大人 300円  
※ボランティア参加無料
- **連絡先**  
代表 石川まさ恵 090-8471-1557

## 活動のきっかけ

碧南市は元々地域の行事が多い、活気のあるまちでした。しかしコロナ禍、行事が次々中止になり閉塞感が漂っていました。そんな中、活気や絆を取り戻そうと有志が集まり、2021年3月よりプレオープンし現在に至ります。

## 場所の確保

立ち上げメンバーに碧南市役所内のレストランオーナーがおり、レストラン休業時間に開催する事になりました。子どもの学習場、遊び場は市役所内施設を利用。当初、施設料金が発生していましたが、まわりの協力や行政の理解を得て、現在では市内施設の利用は無料となりました。2023年1月より拠点を文化会館と中部公民館に移し活動しています。



活動メンバー(一部)

## 運営費

県、市の助成金、民間の補助金。フードバンク利用。地元農家さんからの野菜の提供。地域の人達からの食材や金銭の寄付。企業さんからの食品支援。

## ボランティアの確保

市の広報、地域新聞「たんぼぼニュース」、Twitter等でのSNS発信。2023年1月より大人はボランティアとして参加し、食事は無料にしています。



地元企業様より食材提供と中学生ボランティア

## コロナ禍注意したこと

「むすびえ」の運営者向け研修会「コロナ禍での活動方法」にて学んだ事を実践しました。2年目だった事もあり参加者自身も対応を理解していて、とても協力的でした。

## コロナ禍または子ども食堂を開催して気づいた事

公共、民間の施設が閉鎖や利用制限になり、高齢者や乳幼児の親達が集う居場所がなくなりました。支援が必要な人ほど「助けて」が言えない、上手に伝えられないという事がわかりました。信頼をおける人を仲介し支援品を届けています。

コロナにより人とふれあう事を避けた生活だったためか、心の許容範囲がせまい人が多くなった気がします。そんな人にとっては、子どもは時には、「うるさい」「きたない」「あぶない」生き物にもなりえます。だからこそ、子ども食堂を通して、地域で子育てをする風土を作りたいと考えています。

## 活動内容

- 土曜日は地域のボランティアが、頂いた食材を調理して提供。テイクアウトは様々な理由でお困りの方のみ提供。
- 夏休み等の長期休みの平日は子ども自ら調理します。基本テイクアウトはなし。  
季節に応じたイベントや食育を兼ねた料理教室、子ども向けの防災教室、お金の勉強会、大人向けに子ども権利条約、虐待防止の勉強会を行いました。最近入った学生ボランティアが企画運営したeスポーツ大会は大変盛り上がりしました。

## アピールポイント

コロナ禍、他の子ども食堂がテイクアウトや物資提供型に切り替える中「みんなと一緒に食べる」にこだわりました。子どもの主体性を尊重し、イベントは子ども達と一緒に企画、運営します。調理や片付けを率先して行う子どもが多く、道具の奪い合いになり、対応に困るぐらいいです。

## 今後の目標

碧南市7地区すべてに子ども食堂を開設。1回開催ごと5千円の補助金がもらえるようにすることです。子どもから高齢者、外国籍の人達が関連する他の団体や行政部署と連携していきたいです。



大人手出し無用もちつき大会



茶こしで麺をすくう  
コロナ対策流しそうめん大会



地元企業様を迎えて  
食育を兼ねた子ども料理教室



外国籍の子ども達との共存・協働



農家さんと企業さんより頂いた食材で  
ボランティアのアイデア料理



ウクライナでの戦争を受け  
募金活動



# サンクテーブル | 半田市

- 設立年月日  
2016年6月
- 活動場所  
神戸公民館(ごうごうみんかん) 半田市花園町1-12-2
- スタッフ人数  
10名程度

- 開催日時  
原則月1回 第2土曜日 11:00~13:00  
屋外子ども食堂は不定期
- 参加費  
子ども 無料
- 連絡先  
代表 澤田恵子 090-5874-5301

## 活動のきっかけ

食べることに困る子どもが市内にもいることや、経済的な貧困だけでなく、人と人とのつながりや経験の少ない子どもが増えていることを知り、地域コミュニティに所属するボランティア団体としてできることを探看中、子ども食堂の活動を知りました。2016年6月に第1回目、“地域の大人と一緒にカレーライスを食べる会”を開催、以降2020年2月までは地域の子どもの居場所、子どもと大人が顔見知りになってつながる場所、地域の子どもの見守る場所として活動していました。

## 団体の特徴

地域コミュニティに所属する団体なので、拠点は公民館です。会食ができていたころは、玄関ホールに机とイスを並べてわいわいにぎやかに食事、他利用者の目に触れる場所で“子どもなら誰でも来て良い、開かれた場所”として活動してきました。公民館を利用する地域の大人の目に触れ、知ってもらうことで理解や支援につながっています。

公民館主催のふれあい事業と共同で芋ほり体験を企画、また地元の商店街が開催するマルシェに参加、豚汁をふるまって募金活動をするなど、開かれた中で子どもたちをゆったり見守り、それとなく気に掛ける。そんな場所をめざしてきました。子ども会が解散し異年齢の子ども同士の課外活動が減る中で、役割は大きくなっていくと実感しています。同時に子どもたちにお楽しみを



提供したいと考える大人同士がつながりを作るきっかけにもなっています。

登録制のフードパントリー  
家族の人数によってカゴを色分けしています

## 現在の活動

コロナ禍以降、特定のご家庭に対し月に1度食材や日用品を配るフードパントリー活動を行っています。また22年度からは半田市の助成金を利用して、公園や地域の広場などの屋外で行う会食スタイルの子ども食堂「アオゾラキャラバン」を不定期開催しています。2021年からは夏休み中に地元の学生らの力を借りて、3~5日間「さま〜スクール」(子どもの居場所事業)に取り組んでいます。



2022年 ついに花園公園でサンクテーブル開催!!



2021年 公民館駐車場で  
おだんごまつり



2022年 さま〜スクールと夏野菜ゴロゴロカレー



2019年 ある日のメニュー  
みんな大好き三色丼

## スタッフの確保

以前は子どもと大人併せて、参加者が60人以上になることも多く、サポーターとしてのスタッフも多くいましたが、コロナ禍を境に減っています。外で行うアオゾラキャラバン等のイベント開催時には随時地域の方々に声掛けし、スタッフとして力を貸してもらっています。

## 運営資金・食材の確保

自治区から活動費を得ています。そのほか助成金の利用や地域の方からの寄付で賄っています。

米や野菜、お肉などのご支援も大変助かっています。コロナ以降、子ども食堂を支える中間支援団体が増えました。

それらの団体から支援の情報をいただき利用することで、活動を継続することができています。

## 大切にしていること

サンクテーブルにやってくる子どもはもちろん、大人にとっても、帰るときには今日も楽しかったな、参加してよかったなと思える場所でありたい。家でも学校でもないけれど、子どもがやってきたらそこに必ず迎える大人や友達がいる。わいわいにぎやかに食事の支度が進むにつれだんだん良い匂いが漂ってくる。そんな楽しくて暖かくて安心できる場所でありたいと考えています。

小さな試みから始まったサンクテーブルですが、これまで本当に多くの方々から力を貸していただきました。私たちはこの感謝の気持ちを、参加する子どもたちや大人とともに楽しみながら共有する役割があります。また今改めて実感しているのは、“会話をしながら食事をするこの大きな意味”でした。コロナ禍になってさらに強く感じるところです。次年度からは状況を見据えながら、また以前のように屋内での会食サンクテーブルを復活させる計画です。

# 西尾市社会福祉協議会 フードバンクにしお



- **設立年月日**  
令和4年4月  
(前身)フードバンク西尾準備会  
令和2年12月～令和4年3月
- **子ども食堂活動数**  
市内6か所(令和5年度に1か所増加予定)

- **連絡先**  
社会福祉法人西尾市社会福祉協議会  
(西尾市総合福祉センター内)  
フードバンクにしお事務局 0563-56-5900(代表)

## 活動のきっかけ

コロナ禍により外国人の生活が厳しくなる中、外国人の支援をしている団体から、市内の子ども食堂に食料支援の相談がありました。そこで、令和3年12月に外国人支援団体や子どもに遊び場を提供している団体、子どもの不登校や引きこもりをサポートしている法人などをメンバーに立ち上がった団体が「フードバンクにしお準備会」です。そして、その年の年末に、西尾市役所の庁舎を借りて食料支援を行ったのがフードバンク活動の始まりでした。

その後、食料支援の話聞いた日本人から、「困っているのは外国人だけではないのでは」との指摘を受けて、2回目以降からは国籍を限定せず、会場も西尾市総合福祉センターに移し、2か月に一度「ライフ&フードパントリー」という名称で、生活用品と食料品配布のパントリーを開催するようになりました。



令和2年12月西尾市役所多目的ホールにて、はじめての外国人向け食料支援

多くの作業が求められ、保管する場所や設備が必要です。社協からの助成金により、食料品を保管する倉庫の整備をしたことに伴い、企業等からたくさんの寄付品、支援品のご協力をいただくことができました。社協が事務局となったことで、ボランティア団体のみでは不可能だった取組が可能になり、業務拡大を図れるようになりました。



西尾市総合福祉センターふれあいホールにて、寄付品・支援品の仕分け作業

## 西尾市の「プラットフォーム」を目指して

「フードバンクにしお準備会」では、活動を通して、生活に困っている人の多くが、子どもを育てている世帯であることを知り、フードバンクがプラットフォームとなって子ども食堂を後方支援すれば、一層充実した子ども

食堂の運営をしていけるのではないかと考えました。この構想をもとに、子ども食堂の代表者を含めた子どもや、外国人の支援団体と連携するためのLINEグループ「フードデポにしお」を開設し、情報交換や食堂開催日にあわせた支援品提供などの準備がスムーズにできるようになりました。

## 準備会からフードバンクにしおへ、そして社協が事務局に

令和3年度の食料支援の実績数が実に延べ3,400人、約1,000世帯を超えました。そこで、ボランティア団体のみでフードバンク活動をしていくことは難しいと判断した「フードバンクにしお準備会」からの要望もあり、令和4年度からは正式に「フードバンクにしお」として発足し、社協が事務局を担うことになりました。

市民の皆様からご協力いただいた食料品を支援が必要な方へ渡すまでには、消費期限の確認や温度管理な



フードバンクにしおをプラットフォームにした図

## これからの活動展開

### ～市民の誰もが利用できるように～

現在の課題のひとつとして、需要(支援を受けたい方)と供給(支援できる量)のバランスが取れておらず、食料が必要な方(特に自分からヘルプを出せない外国人世帯や障がい者の世帯)へ行き渡っていないことがあります。

未だ「知っている人だけが利用できる」支援であり、そこから脱却するためには、安定的な食料品や事業費、人材の確保が必要となります。今後は、行政をはじめとした様々な機関や団体と連携し、協働で生活困窮者支援に取り組み、支援を受ける人が「ワンストップ」でサービスを受けられる仕組みづくりを目指したいと思います。

また、運搬コストの軽減にもなり、地元で生産されたものを地元で消費でき、地域経済の活性化につながる

「地産地消」も目指します。地元の生産者や企業に協力を求めることで地域の中で困っている人がいると知っていただき、相互扶助の関係性を作っていくのが私たちの最終目標です。



令和3年12月西尾市総合福祉センターにて年末の炊き出し お好み焼きを400枚焼きました



令和3年度9月緊急事態宣言下、施設内で配布はできなかったため、屋外のロータリーを利用して、ドライブスルー方式で食料支援を行いました



令和4年度5月ひとり親家庭企画 愛知こどもの国でバーベキューを開催

# 令和4年度「子どもの居場所づくり応援事業」実施報告書

## 1 子どもの居場所づくり応援事業について

愛知県社会福祉協議会では、2019(令和元)年度から、愛知県の補助事業として、「子どもの居場所づくり応援事業」を実施し、4年目となりました。

子ども食堂は、全国に広がっており、NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえの2023(令和5)年2月調査発表によると、コロナ禍においても増加し、全国に7,363か所あり、昨年から約1,349か所増加しました。

愛知県においても、子ども食堂(愛知県調査)は、調査を始めた2017(平成29)年には56か所だったのが、2022(令和4)年には293か所と年々増えており、各地域で取組が広がっています。

## 2 事業の内容

### (1) 「子どもの居場所づくり推進会議」の運営、検討部会の開催

事業の中核となるのが、「子どもの居場所づくり推進会議」(以下、推進会議)です。

推進会議において、子ども食堂の置かれている現状と課題について協議した結果、①資金と食材の確保、②地域との連携、③場所の確保、④人材の確保、⑤リスク管理の5つの課題が挙がってきました。とりわけ、①の食材の確保について、重点的に議論を重ね、子どもの居場所づくりに資する取組を行う団体等が身近な地域で食品の提供を受けるため、フードバンクの役割を担う団体を「あいち子ども食堂応援ステーション」(以下、「あいステ」)として認定する制度を2022(令和4)年4月から新たに創設しました。

また、愛知県の子ども食堂に関する情報発信を推進するためのWEBサイト「あいち子ども食堂応援ポータルサイト」(以下、「ポータルサイト」)を赤い羽根共同募金配分金により開設し、「あいステ」への企業等への食材提供の呼びかけや、「あいステ」を利用したい子ども食堂からの利用申込の受付等を行いました。

#### ●協議概要

推進会議第1回では、昨年度の協議内容に引き続き、子ども食堂の課題や協力策を検討いただき、各委員が自分たちの組織でできる協力策の実施状況等について報告いただきました。

また、「あいステ」の認定状況や活動状況、「ポータルサイト」の開設について、ご意見を伺いました。

推進会議第2回では、引き続き、各委員の協力策の取組状況、その効果や課題、また今後の予定等の情報共有を行いました。そして、推進会議第1回にて確認された「あいステ」と「ポータルサイト」での活動状況について報告し、ご意見を伺いました。

また、専門部会として、県内3地区で、検討部会を開催し、地域の状況の把握と課題の検討を行いました。検討部会には、各地区の市町村社協職員にも呼びかけ、推進会議で取組の重要課題となっている「あいステ」及び「ポータルサイト」について報告を行うと共に、支援者としての日ごろの思いや取組状況など意見交換していただきました。

#### 推進会議 2回開催

|     |         |
|-----|---------|
| 第1回 | 8月5日(金) |
| 第2回 | 3月6日(月) |

#### 検討部会 3回開催

|              |           |
|--------------|-----------|
| 尾張地区(名古屋市東区) | 10月25日(火) |
| 三河地区(西尾市)    | 11月15日(火) |
| 知多地区(大府市)    | 11月29日(火) |

### (2) 子ども食堂支援者及び開設準備研修会の開催

身近な地域で、子ども食堂をこれから始める方や、子ども食堂を運営する方、地域の福祉活動を支援する関係機関をつなぎ、子ども食堂を地域に定着させ広げていくことを目的に、県内3地区で開催しました(検討部会と同日の開催)。

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 尾張地区(名古屋市東区)<br>令和4年10月25日(火) 参加者:24名 | ●講 義: あいち子ども食堂ネットワーク相談役<br>子どもの居場所づくり推進会議副委員長 杉崎伊津子 氏<br>●活動報告: 笑顔いっぱい食堂 宮澤京子 氏 伊東明美 氏     |
| 三河地区(西尾市)<br>令和4年11月15日(火) 参加者:19名    | ●講 義: あいち子ども食堂ネットワーク代表 忠平 守 氏<br>●活動報告: あつまれ!! ふうせん広場代表者 石川まさ恵 氏                           |
| 知多地区(大府市)<br>令和4年11月29日(火) 参加者:26名    | ●講 義: あいち子ども食堂ネットワーク相談役<br>子どもの居場所づくり推進会議副委員長 杉崎伊津子 氏<br>●活動報告: 半田市子ども食堂 サンクテーブル代表者 澤田恵子 氏 |

#### ●子ども食堂支援者及び開設準備研修会 3会場 参加者状況

| 種別        | 実践者 | 準備中 | 社協 | 行政 | その他 | 合計 |
|-----------|-----|-----|----|----|-----|----|
| 尾張(10/25) | 6   | 7   | 7  | 3  | 1   | 24 |
| 三河(11/15) | 5   | 4   | 6  | 4  | 0   | 19 |
| 知多(11/29) | 10  | 7   | 5  | 4  | 0   | 26 |
| 合計        | 21  | 18  | 18 | 11 | 1   | 69 |

#### ～参加者の意見(一例)～

- ゆるやかな活動で、自分たちがやりたい形でやればいいんだという勇気をいただきました。
- 様々な失敗を通して、より良い活動ができているのだと感じました。横のつながりも大切にしていきたいと思います。
- 子ども食堂について話を聞くのが初めてだったので、活動されている方の話が分かりやすく問題点も聞くことができ、参考になりました。

### (3) 令和4年度支援対象児童セミナーの開催

子ども食堂運営者が困窮をはじめとした様々な生活課題を抱える子どもたちに気付いたとき、支援機関につなげるため、そうした子どもたちの特徴を学び、どのような相談先があるのかなどの情報を知ってもらうことを目的に開催しました。特に今回は、ヤングケアラーに焦点を当てて実施しました。

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 令和5年1月25日(水)<br>WEB開催<br>参加者:38名 | ●説 明: 「児童相談所におけるヤングケアラーへの対応について」<br>名古屋市中央児童相談所相談課長 忠平 守 氏<br>●事例報告: 「豊田市のヤングケアラー支援の取組について」<br>豊田市福祉部福祉総合相談課担当長 浅井 恵 氏<br>「ヤングケアラーへの取り組みについて」<br>特定非営利活動法人葵風理事長 月東佳寿美 氏 |
|----------------------------------|---|

#### ●支援対象児童セミナー 参加者状況

| 子ども食堂 | 社協 | 行政 | 合計 |
|-------|----|----|----|
| 22    | 10 | 6  | 38 |

～参加者の意見(一例)～

- アセスメントシートなどで共有することも必要性があると感じます。
- 子どもの言動や行動を見逃さないという事の大切さを再認識しました。
- 事例で教えていただき、これからの活動の参考になりました。

(4) 「子どもの居場所応援プラザ」の設置・運営

子ども食堂を開設・運営する上での様々な相談に応じるため、令和元年7月から、専門の相談窓口として、「子どもの居場所応援プラザ」を県社協ボランティアセンター内に設置し、随時、相談を受け付けています。

～相談の一例～

- 子ども食堂を始めたい。資金や物資の援助はあるか。情報が欲しい。
- 子ども食堂に食材を寄付したい。どうしたらいいか。
- 子ども食堂や学習支援に関心がある。研修会の予定等教えて欲しい。

● プラザ相談件数

| 内訳       | 2022年 | 2023年 |
|----------|-------|-------|
| 子ども食堂    | 153   | 185   |
| 学習支援     | 64    | 121   |
| 両方       | 12    | 13    |
| 応援ステーション | —     | 24    |
| その他      | 11    | 6     |
| 合計       | 240   | 349   |

**設置場所** 愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター事務局内  
 名古屋市東区白壁一丁目50番地 愛知県社会福祉協議会 2階  
 TEL: 052-212-5504 FAX: 052-212-5505  
 E-mail: info@aichivc.jp

(5) 情報発信

● ホームページによる情報発信

愛知県社協ボランティアセンターのホームページ内に子ども食堂の情報を掲載しています。

● 2022年版愛知県「子ども食堂マップ」の作成

愛知県の調査を基に、令和4年10月現在の「子ども食堂マップ」を作成しました。このマップでは、県内で活動している子ども食堂のうち、掲載を御承諾いただいた子ども食堂の情報を集めています。随時追加も行っています。

※本会ボランティアセンターホームページから、ダウンロードできます。▶<http://aichivc.jp>

● 機関紙「ぷらざ通信」の発行

子どもの居場所づくりに関わる活動や情報を広く知ってもらうため、子ども食堂や子どもの学習支援などの取組を紹介する機関紙を、PDFファイル形式で発行しています。

3 今後に向けて

「ポータルサイト」による食材提供の呼びかけや、県社協が認定する食材提供の地域拠点「あいステ」の拡充など、引き続き子ども食堂の設置・運営支援を推進していきます。

また、子どもの居場所を子ども食堂だけではなく、学習支援なども含めて幅広く捉え、「子どもの居場所づくり推進会議」にて議論をしていきます。

● 2023(令和5)年度の具体的取組

- 「子どもの居場所づくり推進会議」において、引き続き子ども食堂における食材の確保と食材提供の地域拠点「あいステ」や「ポータルサイト」による企業等への食材提供の呼びかけや、子ども食堂への寄付食材等の情報を発信するとともに、その他の子どもの居場所の取組も含め研究協議する。
- 「子どもの居場所応援プラザ」において、子ども食堂を開設・運営する上での様々な相談に応じる。

- 子ども食堂の開設・運営のため、地域における検討会や実践的な支援者及び開設準備研修会を開催する。
- ホームページ、機関誌「ぷらざ通信」等の印刷物により、情報を発信する。

● 2023年版子ども食堂マップ ●



● ぷらざ通信2023.3月号 ●





## 子どもの居場所づくり推進会議 要領

### 1 目的

本会議は、分野や組織の垣根を越えた連携・協働のしくみづくりとして、ネットワーク組織を構築し、子どもの居場所づくりのための具体的方策について検討・実践することを目的とする。

### 2 協議内容

- 本会議は、次の事項について協議する。
- (1) 子ども食堂の設置拡大・基盤強化に関すること
  - (2) 子ども食堂の開設・運営についての研修会・交流会・交流会等に関すること
  - (3) 子ども食堂の学習・生活支援に関すること
  - (4) 各市町村における相談支援体制の構築に関すること
  - (5) その他、子どもの居場所づくりに関する必要な事項

### 3 委員の構成

- (1) 本会議の委員の定数は、21名以内とする。
- (2) 委員は、行政機関、社会福祉協議会、子ども食堂関係団体、民間支援団体、企業等の関係者及び学識経験者をもって構成する。

### 4 委員長及び副委員長

- (1) 本会議には、委員長、副委員長を置き、委員の互選により選出する。
- (2) 委員長は、本会議の議長を務める。
- (3) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故のあるときは、その職務を代理する。

### 5 委員の任期

委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### 6 作業部会の設置

本会議には、必要に応じて作業部会を設置することができる。

### 7 事務局

本会議の事務局は、愛知県社会福祉協議会地域福祉部に置く。

### 附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

### 附 則

この要綱は、令和2年9月1日から施行する。

## 子どもの居場所づくり推進会議 委員名簿

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

| No. | 役職   | 選出区分1      | 選出区分2              | 所属                                  | 役職名              | 氏名    |
|-----|------|------------|--------------------|-------------------------------------|------------------|-------|
| 1   | 委員長  | 学識経験者      | 大学教員               | 日本福祉大学 社会福祉学科<br>(愛知県子どもの貧困対策推進協議会) | 准教授              | 中村強士  |
| 2   | 副委員長 | 子ども食堂関係者   | あいち子ども食堂<br>ネットワーク | あいち子ども食堂ネットワーク                      | 相談役              | 杉崎伊津子 |
| 3   | 委員   | 社会福祉協議会    | 市町村社協代表<br>(西尾張)   | 一宮市社会福祉協議会                          | 課長補佐             | 林恒治   |
| 4   | 委員   | 社会福祉協議会    | 市町村社協代表<br>(東尾張)   | 日進市社会福祉協議会                          | 生活支援係長           | 伊藤優子  |
| 5   | 委員   | 社会福祉協議会    | 市町村社協代表<br>(知多)    | 武豊町社会福祉協議会                          | 主席               | 石野靖   |
| 6   | 委員   | 社会福祉協議会    | 市町村社協代表<br>(西三河)   | 岡崎市社会福祉協議会                          | 福祉活動職員<br>主任     | 本景子   |
| 7   | 委員   | 社会福祉協議会    | 市町村社協代表<br>(東三河)   | 豊橋市社会福祉協議会                          | 係長               | 森下安明  |
| 8   | 委員   | 社会福祉協議会    | 市町村社協代表<br>(名古屋)   | 名古屋社会福祉協議会                          | 次長               | 梁野徳一  |
| 9   | 委員   | 民間支援団体・企業等 | NPO(学習支援)          | NPO法人アースネット                         | リーダー             | 城取洋二  |
| 10  | 委員   | 民間支援団体・企業等 | NPO(ボランティア)        | NPO法人ボラみより情報局                       | 代表理事             | 織田元樹  |
| 11  | 委員   | 民間支援団体・企業等 | NPO(ボランティア)        | NPO法人フードバンク愛知                       | 理事長              | 木原賢治  |
| 12  | 委員   | 民間支援団体・企業等 | 県内社会福祉法人<br>(尾張)   | 社会福祉法人ひまわり福祉会                       | 施設長              | 成瀬史宣  |
| 13  | 委員   | 民間支援団体・企業等 | 県内社会福祉法人<br>(三河)   | 社会福祉法人和敬会                           | 理事長              | 太田一平  |
| 14  | 委員   | 民間支援団体・企業等 | 共同募金               | 愛知県共同募金会                            | 企画調整課長           | 榊原英夫  |
| 15  | 委員   | 民間支援団体・企業等 | 農業協同組合             | JA愛知中央会                             | 営繕くらし通部課         | 村上光男  |
| 16  | 委員   | 民間支援団体・企業等 | 生活協同組合             | 生活協同組合コープあいち                        | 専務理事             | 箕浦明海  |
| 17  | 委員   | 民間支援団体・企業等 | 協力企業(流通業)          | 株式会社セブエンブレブ(日本フランチャイズチェーン協会会員企業)    | 東海ゾーン<br>総マネージャー | 小野等   |
| 18  | 委員   | 民間支援団体・企業等 | 民生児童委員             | 愛知県民生児童委員会愛知委員会<br>活動研修研究部会         | 元主任児童委員          | 東嶋とも子 |
| 19  | 委員   | 行政機関       | 市町村代表              | 豊田市福祉部福祉総合相談課                       | 課長               | 大内紀哉  |
| 20  | 委員   | 行政機関       | 教育委員会              | 愛知県教育委員会生涯学習課                       | 課長               | 上野賢司  |
| 21  | 委員   | 行政機関       | 愛知県                | 愛知県福祉局福祉部地域福祉課                      | 課長               | 山本光俊  |

## あいち子ども食堂応援ステーション認定団体一覧

令和5年3月31日

|                  | 市区町村名 | 認定番号 | 団体名                                    | 代表者指名  | 所在地                                   | 連絡先   |
|------------------|-------|------|--|--------|---------------------------------------|---|
| 各<br>市<br>区      | 東区    | 13   | 株式会社キッチンキング(キッチンキング子ども食堂)              | 山野 元久  | 461-0003 名古屋市東区筒井2-11-24<br>葵ビル1F     | 090-1623-7297   |
|                  | 中区    | 17   | 地域食堂おいまつ                               | 津田 豊郎  | 460-0012 名古屋市中区千代田2-7-28              | 090-5879-2017   |
|                  | 昭和区   | 22   | 一般社団法人つなぐ子ども未来                         | 安藤 綾乃  | 466-0848 名古屋市昭和区長戸町5-46<br>つなぐハウス     | 090-3953-2561   |
|                  | 南区    | 9    | ほんわか食堂                                 | 松土 敏子  | 457-0843 名古屋市南区忠次1-5-1                | 052-692-7544  |
|                  | 守山区   | 19   | 一般社団法人つながり探究所                          | 中村 真由子 | 463-0009 名古屋市守山区緑が丘901<br>緑が丘センター 104 | 090-1622-0029   |
| 尾<br>張<br>振<br>興 | 一宮市   | 6    | のわみ相談所                                 | 三輪 憲功  | 491-0869 一宮市向山町1-10-4                 | 0586-72-9697  |
|                  | 一宮市   | 29   | NPO元気ふれあい倶楽部                           | 水島 邦雄  | 491-0105 一宮市浅井町大日比野北浦<br>2668-1       | 0586-64-7078  |
|                  | 一宮市   | 30   | 一般社団法人あいみんテラス                          | 片山 智克  | 491-0854 一宮市北園通3-15                   | 090-1583-7493   |
|                  | 瀬戸市   | 7    | NPO法人エム・トゥ・エム                          | 服部 悦子  | 489-0887 瀬戸市菱野台4-4-3<br>菱野ウイングビルA-4   | 0561-85-6282  |
|                  | 春日井市  | 28   | 就労移行支援事業所ふらっぷ                          | 藤井 貴之  | 486-0825 愛知県春日井市中央通1-52<br>セントラルビル2F  | 0568-83-1181  |
|                  | 稲沢市   | 10   | 一般社団法人愛知子ども応援プロジェクト                    | 藤野 直子  | 492-8021 稲沢市赤池東山町91<br>ハジメ産業株式会社 稲沢工場 | 090-8868-1743   |
|                  | 稲沢市   | 27   | 一般社団法人教育サポート協会                         | 千葉 格   | 492-8143 愛知県稲沢市駅前2-4-7                | 090-9170-3750   |
|                  | 北名古屋  | 1    | NPO法人フードバンク愛知(北名古屋倉庫)                  | 尾形 秋夫  | 481-0011 北名古屋高田寺砂場18番地                | 0568-65-6650  |
|                  | 津島市   | 26   | つしまこども食堂                               | 谷口 雅子  | 452-0835 愛知県名古屋西区丸野2-81<br>トゥルッコ名古屋   | 090-2937-2547   |
|                  | 愛西市   | 11   | 町方ふれあい子ども食堂                            | 水谷 智恵  | 496-8014 愛西市町方町大原75-3                 | 090-7023-9152   |
| 愛<br>西<br>市      | 愛西市   | 25   | 社会福祉法人愛西市社会福祉協議会                       | 原田 健三  | 496-8044 愛知県愛西市江西町宮西38                | 0567-37-3313  |
|                  | 蟹江町   | 2    | NPO法人フードバンク愛知(蟹江倉庫)                    | 尾形 秋夫  | 497-0037 海部郡蟹江町1-114                  | 0568-65-6650  |
|                  | 半田市   | 8    | 社会福祉法人半田市社会福祉協議会                       | 加藤 金吉  | 475-0875 半田市山崎町14番地                   | 0569-23-7361(本部)<br>0569-25-0002<br>(ボランティア地域さあしセンター) |
| 知<br>多<br>市      | 常滑市   | 3    | NPO法人フードバンク愛知(常滑倉庫)                    | 尾形 秋夫  | 479-0844 常滑市大和町1-155-3                | 0568-65-6650  |
|                  | 常滑市   | 15   | 社会福祉法人常滑市社会福祉協議会                       | 栗山 和弘  | 479-0852 常滑市神明町3-35                   | 0569-43-0660  |
|                  | 知多市   | 20   | 社会福祉法人知多市社会福祉協議会                       | 渡辺 正敏  | 478-0047 知多市緑町32-6                    | 0562-33-7400  |
|                  | 武豊町   | 14   | 社会福祉法人武豊町社会福祉協議会                       | 中川 美知夫 | 470-2392 知多郡武豊町字長尾山2                  | 0569-73-3104  |
|                  | 岡崎市   | 18   | 特定非営利活動法人葵風                            | 月東 佳寿美 | 444-0075 岡崎市伊賀町7-106                  | 090-8458-7844   |
| 西<br>三<br>河      | 刈谷市   | 4    | 子ども食堂ほっとライス<br>(特定非営利活動法人西三河在宅介護センター内) | 竹上 富彦  | 448-0821 刈谷市御幸町3-78                   | 0566-28-0500  |
|                  | 豊田市   | 12   | 龍の子                                    | 大羽 文美  | 471-0852 豊田市御幸町3-66-2                 | 090-7439-8264   |
|                  | 豊田市   | 16   | 西三河子ども食堂応援ステーション                       | 山内 健二  | 471-0802 豊田市志賀町の神506-3                | 0565-88-0660<br>090-8151-7935                         |
|                  | 豊田市   | 21   | 一般社団法人このき                              | 中川 美知子 | 471-0869 豊田市十塚町2-1<br>コーポとつか103       | 090-9908-1910   |
|                  | 西尾市   | 23   | フードバンクにしお                              | 布間 裕子  | 445-0852 愛知県西尾市花ノ木町2-1                | 0563-56-5900  |
| 東<br>三<br>河      | 豊橋市   | 5    | NPO法人東三河フードバンク                         | 佐藤 多一  | 440-0806 豊橋市八町二丁目16<br>豊橋市職員会館1F      | 0532-75-3826  |
|                  | 豊川市   | 24   | 豊川市更生保護女性会                             | 内藤 幸子  | 442-0826 愛知県豊川市牛久保町稲市場22              | 090-8158-2951   |

# 子どもの居場所 応援プラザ

## 相談専門窓口

地域における子どもの居場所として、子ども食堂の取組が広がっています。そこで、子ども食堂を開設・運営するうえでの、様々な相談に応じるため、専門の窓口を開設しました。

あなたも「子どもの居場所」に関わってみませんか



子ども食堂を  
やってみたい。



どんな活動を  
しているの？



余った時間で  
何かお手伝い  
してみたい。

応援プラザ  
設置場所

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター内

名古屋市東区白壁1丁目50番地 愛知県社会福祉会館2階

TEL 052-212-5504 FAX 052-212-5505 Eメール info@aichivc.jp

※本事業は、愛知県の補助を受け、愛知県社会福祉協議会が実施しています。

## 「あいち子ども食堂応援ポータルサイト」を開設しました

あいち子ども食堂応援ポータルサイト



※詳細は下記のアドレスかQRコードよりホームページにアクセスしてご覧ください。

URL: <https://www.aichi-kodomoshokudo.jp/>



### あいち子ども食堂応援ポータルサイトとは

愛知県社会福祉協議会では、愛知県の補助を受け、子どもの居場所としての「子ども食堂」の設置・拡大を図るため、2019年から「子どもの居場所づくり応援事業」を実施しています。

このたび、「子ども食堂」の情報発信基地として「あいち子ども食堂応援ポータルサイト」を新たに開設しました。

このホームページには、子どもの居場所に関する情報を随時掲載しています。

「子ども食堂や学習支援について知りたい」、「子ども食堂を開設したいけど、どうしたらいいですか?」、「子ども食堂へ食材を寄附したい」など、お気軽にお問合せください。



このポータルサイトは赤い羽根共同募金配分金により作成しました。

## 「あいち子ども食堂応援ステーション」の認定制度を開始しました



あいち子ども食堂応援ステーション

愛知県社会福祉協議会では、2022年4月から、あいち子ども食堂応援ステーション(通称:「あいステ」)の認定制度を開始しました。

この「あいステ」は、企業等からの寄附食材等を一時的に保管し、近隣地域の子ども食堂などに提供する各地域の拠点のことで、県内30の団体(2023年3月現在)が認定を受けています。

食材等の提供をいただける皆様へ

「あいステ」に食材等の寄付をご希望の方は、「あいち子ども食堂ポータルサイト」の専用のフォームからお申し込みください。

※寄付のお申込は下記のアドレスかQRコードよりお申し込みください。

URL: <https://6b6bd252.form.kintoneapp.com/public/aistation-syokuzaikihu>



子ども食堂を運営  
されている皆様へ

「あいステ」を利用されたい場合は、専用のポータルサイトからの利用申し込みをお願いします。利用申し込みをされると、愛知県社会福祉協議会へ寄贈のあった食材等が「あいステ」に提供された際に、登録されたメールアドレスにお知らせします。

※利用申込は下記のアドレスかQRコードよりお申し込みください。

URL: <https://6b6bd252.form.kintoneapp.com/public/aistation-riyoumousikomi>

